

---

# 歌旅人（うたびと）

一色 赤

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

歌旅人  
うたびと

### 【Nコード】

N4941J

### 【作者名】

一色 赤

### 【あらすじ】

歌を歌い旅をする歌旅人。  
うたびと

彼の恋のお話です。

彼は歌旅人（うたびと）。  
歌を歌い旅をする。

彼は最高の歌旅人だった。

彼の歌は子供たちに、夢を、若者たちに愛を、お年寄りに懐かしかった日々、思い出を、すべての人々に想うことの素晴らしさを教えた。

彼の行く先々、人々はとても幸せな気持ちになった。

みんな彼にはこの町に留まって欲しい、行かないでくれと止めたものだ。

しかし、彼は歌旅人。

ふわり、ゆらり、風のように旅に出る。

やがて彼がたどり着いたところは、年中花がいっぱいの春の町だった。

そこに、一人の美しい少女がいた。

少女は耳が聞こえない。

彼は一目で少女に恋をした。

少女は大抵、広場で花を売っていた。

彼は少女が見えるところ、広場の真ん中にある噴水の前で歌を歌った。

晴れの日、愛しい人とめぐり合えた喜びを。

風の日、恋する楽しさを。

曇りの日は、もどかしいこの気持ちを。  
雨の日は、会えない切なさを。

しかし、少女に歌は聞こえない。  
それでも彼は毎日、毎日少女の為に歌を歌った。  
やがて少女も彼の愛に気づき、ようやく二人は結ばれた。

。。。そして彼は。。。歌旅人じゃなくなった。

彼はもう旅をしない。

少女に愛を歌う為、春の町に留まった。

しかし、歌旅人でなくなった彼にはもう、歌が歌えなくなっていた。  
毎日の歌で、彼の喉は、これ以上二人の愛を歌うことを許さなかつた。

そのことに気づいた夜、彼は初めて自分の為に歌を歌った。  
悲しい、とても悲しい歌を。  
そして、一人、静かに泣いた。

それでも彼は歌を歌う。

ある日、少女はこう言った。

『あなたの歌は音のない私の世界にちゃんと入ってくるの。これからもずっと私の為に歌って。』

少女は知らない。

彼の声が出ないことを。

それでも彼は少女の為に歌を歌う。

町外れの一軒家。

可愛らしい花々に囲まれた小さなお家。  
彼らの家は、  
いつだって、  
優しい静けさに、  
包まれていた。。。

(後書き)

最後まで読んで下さってありがとうございます。本当に一言でもいいのでご意見頂けると、嬉しいです。あなたの言葉が、私の生きる力になる！本当です！笑

ヨロシクお願いします(´) (エ) (´) ?

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4941j/>

---

歌旅人（うたびと）

2010年10月11日21時16分発行